

屈折検査について

3歳児眼科健診に屈折検査をしてはどうか。現在の検査は家庭で行われること等により、健診の受診率が高いにもかかわらず、多くの弱視が見逃されている。

実施している他の自治体を参考に、今後研究していきたい。

選りたくなくなるまち三条について

市長は他市町村に無い、あるいは負けない三条の良さや魅力をどこに感じておられるのか伺う。

また、下田地域以外のまちづくりをどのように進めていかれるのか伺う。

ものづくりは言うまでもなく、信濃川、五十嵐川をベースとしたおいしい食べ物、下田地域の豊かな自然、ものづくりの技術をベースにしたアウトドアグッズなど、これらが相まって一つのまちにあることが三条市の強み、良さと考えられる。こうした魅力を対外的に発信するだけでなく、現在の市民の幸せに寄り添っていくことも大切。それが選りたくなくなるまちにつながるかと考えている。

三条市、旧栄町、旧下田村にその優劣というものを全く考えていない。地域の個性を生かしたまちづくりを進めていく

豆ちしき 多面的機能支払交付金とは、農業の有する多面的機能の発揮を促進し、担い手の負担を軽減することを目的とした交付金のこと。

ことが大切だと考えている。

嵐南小がコロナ感染で休校措置を取ったのは一休校の統合に無理があり間違っていたからでないか

1回目、1月29日から1月31日、2回目、2月1日から2月4日まで休校措置が取られた。3校統合前であれば1校で済んだはずだ。保護者もその間働くことができず、収入がなくなり家計を圧迫する事態となった。嵐南小中一休校の統合は無理があり、間違っていたのではないかと考えている。

一休校であるからといって感染症が拡大したという事実はないものと考えている。

三条市は都市力はあるが都市格については不十分でないか

衣食足りて礼節を知るとい言葉があるが、衣食を経済、礼節を文化とするなら、都市格は礼節であり、都市力は衣食である。両者が整ってこそ都市は発展すると思う。日本で都市格が最も高いのは京都であり、従って京都は都市格の高さゆえに同じ品物でも高く売れている。こうした文化の力で都市格

三条市交通安全計画について

主要幹線道路の消雪パイプ設置の考え方はどうか。

機械による除雪を基本とし、昨今の異常気象に伴い集中的な除雪や周辺の住宅開発等の状況等を勘案しつつ、必要に応じて消雪パイプの整備について検討するなど安全で円滑な冬期道路交通の確保に努める。

高齢者世帯等命綱固定アンカー設置事業について

相談件数や設置数はどうか。令和3年7月1日から受け付けを開始し、相談件数は15件、補助実績は申請数1件、棟数として2棟分を補助した。



命綱固定アンカー設置の状況

を高めるとい視点で三条は弱いように思うが、いかにお考えか。

市民が地域の歴史や文化に触れ、学び、自らの血肉としていく場をこれまで以上に増やしていく。



耕作放棄地、荒廃農地について

耕作放棄地、荒廃農地減少に向け、令和4年度はどのような施策を考えているのか。

担い手の確保、農地の集積、集約が重要。多面的機能支払交付金等の国の事業、農業用機械等導入補助金等の市独自の施策を進めていく。

荒廃化が避けられない場合、進行する前に森林への計画的転換を図る見方もあるが、見解を伺う。

農振用地からの除外や農地転用の手続、植林後の管理等課題も

補助対象要件の緩和はどうか。

高齢者等の雪下ろし時の事故を未然に防ぐことを目的に制度の周知、分かりやすい丁寧な説明に努める。

移住の促進について

ウェブサイトの移住先魅力ランキングで三条市が1位になり、そのことがテレビで全国放送され、認知度が向上しているが、移住者の実績はどうか。

前年度、市の支援事業を利用した移住実績は8人だったが、今年度は2月末までに42人が移住している。

三条市が行っている独自支援をアピールし、ターゲットを絞った移住促進事業を行ったかどうか。

移住者獲得に重要になるのは、移住検討者の本気度であると感じているので、個々の移住検討者のニーズに応じた三条市の魅力を発信、提案し、多様なニーズに、あるいは興味に寄り添うことで、移住者の獲得につなげていく。

高齢者など情報弱者へのデジタル化の対応について

デジタル化が浸透していない市民に対し、三条市はどのような講

多いことから、容易ではないと捉えている。

公共施設のトイレ洋式化について

公共施設の洋式トイレの現状はどうか。960基あるうち414基43%が洋式トイレである。

今後どのように洋式化を進めていくのか。

公共施設に1基以上の洋式トイレを整備している。今後は、財政的な負担を考慮しながら洋式化の整備を検討していく。

SNSでの情報発信の在り方について

三条市のSNSアカウントはどのくらいあるのか。

SNSは合計で69アカウントある。フォロワー数等は着実に数を伸ばしている。

SNSの体制を充実する必要があると考えるが、見解を伺う。

来年度からSNS運用マネージャーを採用する。

座を行っているのか。

令和3年度スマホ教室を8公民館と大崎会館で58回実施し延べ318人の参加があった。また、パソコン教室は、中央公民館と栄公民館で15回実施し延べ89人の参加があった。

IT弱者をなくすため、図書館等複合施設「まちやま」でもデジタル関係の講座を行ったかどうか。

議員の提案を受け、出張スマホ教室等をまちやまの会議室等を利用して開催する。



完成間近な図書館等複合施設「まちやま」

防災備蓄倉庫の建設について

地球温暖化による水害や原発事故、その他の有事の状態から市民の生命を守るため、市としても相馬

地域防災力を高める取り組みについて

防災気象アドバイザーの採用の経緯はどうか。

当初は平成28年度に気象予報士活用モデル事業で出水期の6月から9月までの4カ月間派遣された。平成29年度から市職員として、令和元年度までは4カ月間、令和2年度は半年間、今年度から通年雇用で専門的知識を有する特別任用職員として雇用している。

業務内容はどうか。

災害時の避難情報の発令や解除を判断する気象情報の解説に加え、平時には地域や学校での気象に関する出前講座を行っている。



防災気象アドバイザーによる出前講座